

採択理由

プログラム名：安全・安心な社会のための犯罪・テロ対策
技術等を実用化するプログラム
対象とするテーマ：【テーマ3】核物質探知装置の開発
課題名：ガンマ線による核物質非破壊検知システム
提案機関名：京都大学
研究代表者名：大垣 英明

コメント

本提案は、研究代表者等が実施してきた γ 線測定等の研究開発をベースとして新技術（逆コンプトン γ 線による核共鳴蛍光散乱の利用）を開発し、コンテナ貨物中の核物質の核種及び空間位置の同定を目指すもので、実績ある参画企業との連携から計画が具体的であり、実現性が高く、評価できる。なお、実用段階での小型化、建設コストおよび運用面の操作性において課題もあるため、これらの点に留意して実用化に向けた開発を進めることを期待する。